

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成21年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立介護実習普及センター	所管課	福祉保健・長寿社会課
所在地	甲府市北新1丁目2番12号	設置年月日 (改築年月日等)	平成9年4月1日
管理方式	指定管理者(社会福祉法人山梨県社会福祉協議会、平成21年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立介護実習普及センター設置及び管理条例		
設置目的	(1)最新の介護機器の展示等を通じて、県民に介護に関する情報を提供すること (2)主催事業の実施を通じて、介護知識・技術の習得の機会を提供すること (3)介護における相談の機会を提供すること		
主な施設内容 (定員等)	山梨県福祉プラザ1階(447.30㎡) 福祉用具展示室(160.05㎡)、介護実習室(142.60㎡)、事務室(29.58㎡) 調理実習室(68.75㎡)、相談室1(13.20㎡)、相談室2(13.12㎡)、倉庫(20.00㎡)		
主な業務内容	(1)高齢者の介護に関する講座及び研修の実施に関する業務 (2)高齢者の介護に関する相談及び情報提供に関する業務 (3)高齢者の介護用機器展示に関する業務 (4)施設及び施設器具の維持保全に関する業務		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	
-------------------	--

3. 利用状況

単位:人、%

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度 (目標値)
利用者数	利用者数	8,072	7,359	8,596	
	利用者数合計	8,072	7,359	8,596	
	目標値	7,300	8,300	8,820	9,261
	目標値設定の考え方	H20までの指定 期間中の過去の 実績の平均値	過去の入場者平 均は、7,380人 +備品など利用 者約1,000人	平成20年度の利 用想定人数を8, 400人として、 5%アップを目標	対前年比の5% のアップ
	対19年度比	100.0%	91.2%	106.5%	114.7%
稼働率					

4. 収支状況

単位:円、%

		平成20年度	平成21年度 (計画値)	平成21年度 (実績値)	平成22年度 (計画値)
収入	施設利用料				
	指定管理者委託料	33,099,628	34,577,844	34,577,844	34,748,651
	その他			51,000	
	収入合計(A)	33,099,628	34,577,844	34,628,844	34,748,651
支出	人件費	19,105,000	17,606,236	17,590,530	17,768,910
	県への納付金				
	管理運営費	13,394,031	16,971,608	14,977,250	16,980,090
	(うち外部委託費)(B)				
	支出合計(C)	32,499,031	34,577,844	32,567,780	34,748,651
収支差額(A-C)		600,597	0	2,061,064	0
外部委託比率(B÷C)		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
利用者一人当りの経費		4,497	3,920	4,023	3,752

5. 利用者満足度

実施方法等	<p>実施時期:平成21年5月～平成22年3月                      実施方法:                      ①テーマ別介護講座受講に関するアンケート                      ②認知症サポーター養成講座受講に関するアンケート                      ③介護職員研修受講に関するアンケート                      ④展示室利用に関するアンケート                      回答数:①180人②201名③368人④137人</p>
-------	---

単位:%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
調査項目	大変参考になった	参考になった	やや期待はずれ	期待はずれ
①講座の評価(講義)	71.7%	26.1%	0.6%	0.0%
①講座の評価(実技)	64.4%	17.2%	0.6%	0.0%
②講座の評価(講義)	50.8%	40.8%	2.0%	0.0%
③講座の評価	69.0%	27.2%	1.4%	0.0%
④利用しての感想	55.5%	37.2%	5.8%	0.0%
各項目の平均	62.3%	29.7%	2.1%	0.0%

利用者の意見	<p>(講座)・具体的な説明で分かりやすかった。・次回も受講したい。・知識が深まり、介護が楽になった。・介護のことに興味をわいてもっと学びたい。                      (展示室)・今後、利用する可能性があるので参考になった。・初めて見た福祉用具が多く興味深かった。・職員の説明が丁寧だった。・利用者にはアドバイスができる学びができた。など</p>
利用者の意見への対応	<p>・講座受講者、展示室利用者とも「大変参考になった」「参考になった」を合わせると、9割以上の利用者から良い評価を得ている。                      ・今後も(外部)講師と連携を密にし、より良い内容の講座が開催できるよう努めたい。                      ・また展示室については、引き続き「見て、触れて、試せる」展示場づくりに努めたい。</p>

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	・展示室における接客対応については、「担当職員の説明が分かりやすかった」利用者アンケートからも「大変良かった」「良かった」という感想が多く聞かれた。	業務仕様書、業務計画書どおり適正に実施されている。
運営業務	・一般県民向け講座では、内容によって受講者数にばらつきがあった。周知方法や内容について、内部また講師と検討し、受講者増に努めたい。 ・相談業務では2名の専門職員が丁寧に分かりやすく対応しており、アンケートの評価も良かった。	事業報告書及び現地確認の結果、適正に実施されている。 今後も創意工夫を図り、各種講座の増加や展示会の相談対応等サービスの向上のために努力する必要がある。
自主事業	・遠方の受講希望者に対応する「出張講座」や「リクエスト講座」を各地で実施した結果、受講者数がアップし、実績を上げることができた。 ・その他、夏休み小学生介護講座や企業向け入門介護講座については引き続きPRIに努め、受講者を増やしていきたい。	計画どおり適正に実施されている。
利用状況	・20年度と比較すると、利用者は全体で16%増加した。 ・特に講座受講者については、臨時講座や出張講座を積極的に受け入れて実施した。	講座の内容のほか、講座の開催方法・周知方法など再検討を行うことにより、利用増加が図られるよう努力されたい。
収支状況	・予算の範囲内で仕様書のとおり運営し、事業も実施することができた。 ・また、自主事業にも積極的に取り組むことができた。	21年度の利用者1人当たりの経費は4,023円は、前年度経費を下回り、経費節約に努めていることは評価できる。
利用者満足度	・各アンケート結果から、センター利用者の評価は概ね良好であったと考えている。 ・22年度も引き続き講座の内容、相談体制等を充実させ、利用者に来て良かったと思われる運営をしていきたい。	「良かった」「大変良かった」という感想が、90%を越えた感想をいただく。今後も、利用者のニーズに添った各種事業を進めていただきたい。
運営目標の達成状況	○平成21年度施設利用実績は8,596人で、目標数8,820人を下回った〔対前年比116.8%（1,237人増）が、前年度より展示来所者、講座受講者、相談者、貸し出し、自主事業の項目全てで増加した。また、展示来所者は、施設関係者、団体視察、学生（個人）が減少していたが、全体としては約15%増加した。満足度調査、講座で利用度の高い内容を更に分析し、ニーズに即した利用展開の改善は必要であるが、施設の運営目標は概ね達成されていると考えられる。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	施設管理・運営業務・自主事業等について、条例、協定及び提案等に基づき概ね適正に履行した。県民のニーズの把握に努め、利用者サービスの向上と利用率の向上に向け努力した。 利用実績は前年度より増加したが、目標値には届いていないため、平成22年度各種講座を実施するに当たり、講座の紹介方法や講座の実施方法として、出前・リクエスト講座を更に充実し、参加者の増加を図っていく必要がある。 また、展示品については、購入する手段を含め直ぐに活用できる方法を今後の課題として検討していく必要がある。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	平成22年度周知の方法として、特に、関係の高い地域包括支援センターに出向き、周知を進めた結果、問い合わせ件数は増加している。 平成22年度各種講座を実施するにあたり、住民や団体のニーズに応じた出前講座、リクエスト講座を更に充実し、参加者の増加を図っていく。 展示品については、介護機器普及事業運営協議会を中心に関係者と協議していきたい。	

7. 管理体制(組織図)

